



相談支援つうしん

県立湘南支援学校
支援連携グループ
相談支援班 第6号
令和5年11月24日(金)

学校前の土手道には、ススキ、コスモスが踊っています♪（校歌の二番みたいです!!）しかし、急に冬のような寒さにビックリしています。体調を崩さないように、お過ごしください。

さて、学校生活では、10月から修学旅行・宿泊学習といった活動が実施される時期になりました。今回は、宿泊活動に伴う支援を通して「見えないモノを見える化する」ことについて、お話しします。

校外活動の基本的な考えは、「いつ、どこで、誰と、何を、どうする?」を『見える化する（手がかりを教える）』ことです。



① 【いつ】…先のことを予測することは、難しいことです。

- 朝の会で、学年通信を使って「今日の日付」に赤い印をつけて、一日のスケジュールを確認することは、『一対一』の考え方が分かるようになると理解しやすくなります。登校前に学年通信を見ながら「今日はここだね。〇〇があるね」と確認して印をつけているご家庭もあるそうです。（素晴らしい!）
- 帰りの会では、学年通信を使って今日の日課に線を引いて「今日はおしまい。明日は、〇〇をするよ」と伝えることで、今日と明日のつながりができます。また、一月ごとのカレンダーを横において、今日のところに丸を付いたり、一日の終わりにシールを貼ったりしてカレンダーの数字が意味のあるものだと徐々に気付くことができるようにします。
- 《応用編》カレンダーに、例えば『お出かけ、お買い物マーク』を書いて、その日を楽しみに「お手伝いをしてお小遣いをもらい、お出かけの日に欲しい物をお小遣いの中で買う」使い方もできます。
- 「時」は目には見えない少し難しいものですが、日々の生活の中で「今日」という小さい単位から見える化をして「昨日、今日、明日」や「ちょっと先の未来」を理解することは大切なことです。カレンダーの数字は変わることなく規則的に並んでおり、確認しやすい物の一つです。



さて本題ですが、今年の小学6年生の修学旅行は、お天気にも恵まれ箱根に1泊、貸切バスの旅でした。毎日、自分たちのスケジュールボードを使い日程を確認しているので、修学旅行中も同様に行いました。特に、ハッピータイム（自己選択した自由遊びの時間）を使い、旅館の休憩時間もハッピータイムを上手に使って過ごすことができました。（日課は一部省略）

また、事前学習でも修学旅行という大きな単元の中で、いつ何を学ぶのかがわかるようにカレンダーワークをすることで修学旅行全体のイメージを掴むことができました。

② 【何を、どうする】…活動のイメージ化として、いかに疑似体験をさせて実際の場面で状況理解がどれだけできる

個別のスケジュール



10	がっ3日(かようび)
⑩	すいぞくかん
⑪	おみやげかう
⑫	バスにのる
⑬	りょかん
⑭	ハッピータイム

事前学習	
🌸 9月26日(火)	🍵 おふろのれんしゅう
🌸 9月27日(水)	📄 しおりをつくる
🌸 9月28日(木)	🍡 かいものれんしゅう
🌸 9月29日(金)	👉 やくそくのはなし
10月2日(月)	🚗 よてい

かがカギになります。

- 練習をして、イメージ化し、忘れないように活動内容を何らかのシンボルに変え（写真・絵カード・文字等）、長期記憶に落とし込みます。そして、必要なところでシンボルと現状を結び付け「あ～、この間やったやつだ！」と思い出せることが大切です。



【中学3年生】は、2泊3日の名古屋旅行でした。メインのレゴランドにはアトラクションがあるので乗り方の練習をしました。まずは、乗り場の並び方からです。みんなで足形に沿って並んで順番を待ち、係りの人に案内された場所に友達と二人で座り、手作りシートベルトを閉めていざ出発！目の前には大きなスクリーンにジェットコースターに乗車したときに見える映像が映し出されます。タイミング良く扇風機から風が吹きジェットコースターに乗っているような感覚になります。映像が終わりほっと一息、ベルトを外して出口に向かいます。そして当日はみんな落ち着いてジェットコースターに乗れたそうです。

事前に乗り物の乗り方の体験できることで、イメージが湧きやすくなり、現場に行ったときに「学校で練習したあれだ！」と思い出し、どのように振る舞えばいいのか、記憶の中から呼び起こして、実際の行動する手がかりとなったと思います。

【高等部3年生】は、11/19から2泊3日の大阪旅行です。USJを始め、「どんなお土産を買うのか？」迷ってしまいそうなので、生徒たちはお店等の調べ物学習をたくさんしました。また、買い物学習の練習もしました。生徒たちは、ご家族から頼まれたお土産がどのようなものなのか、準備された写真カードを見て確認していました。その写真カードを手がかりに、お店屋さんに見立てた場所にたくさん並べてある写真カードの中からお土産の品物を探し当て、お財布からお金を出して支払いをしていました。『家族に頼まれたお土産を買う！』とは、さすが高校生。自分の欲しいもの（強い欲求）をコントロールして、誰かのためにがんばる心が育っている証拠ですね。『買い物をする』という活動は、脳にドーパミンが出る気持ちのいい行為です。旅行の楽しみの一つであるお買い物、いい思い出になることを願います。



【ちょっと休憩】 先日、平塚総合公園で「みんなの楽しめてるか（湘南ベルマーレとのコラボ企画）」のイベントがあり平塚市内の特別支援学校四校が参加しました。本校は高等部作業

班の作品販売と感覚グッズを体験できるコーナーを設けました。公園に遊びに来られた方（150名以上）が本校のブースに来てくださいました。スーパーボールの山を見て、子どもたちがニコニコとブースに来てくれます。（いいぞー！）「バランスボールに乗ったら、スーパーボールをどうぞ」と伝えると、みんな真剣！ご家族の方は、ニコニコとその様子を見られているので、「ここに座ってみませんか」とすかさずお声かけ。『バランスクッション』が置いてあるので少しゆらゆらするため、「ちょっと面白い、バランスの練習ですか」といった声も聞かれました。子どもたちの中には、体をたくさん動かしたい気持ちが強く、椅子に座って授業を受けることが難しいことがあるので、ここに座ると走っているような刺激が入り落ち着いて学習に取り組めることお話をしました。さらにチェンブランケットを膝にかけてもらうと、かなりの重みとピッタリした感覚にこれまたビックリ。『走るのを止めようではなくて、走っているような感覚のまま勉強することができるよ』と教えてあげられるのが良いですね」と話してくださいました。おっしゃる通りです。感覚の過敏や鈍麻といった違った感覚を持つ子どもたちがいるということを地域の方に知っていただける機会となりました。

文責 橋爪

感覚過敏を中心とした感覚特性・共生社会等のイベントをされている「感覚過敏研究所」の案内が学校に届きました。肌触りの良い下着や洋服等ご紹介です。



